

延岡HOT NEWS

★「東九州道・九州横断道総決起大会」開催

7月14日（月）、「東九州自動車道・九州横断自動車道延岡線建設促進総決起大会」が延岡市の延岡総合文化センターにおいて開催され、約1500人が参加されました。

大会は第1部の「パネルディスカッション」と第2部の「総決起大会」の構成で、パネルディスカッションでは「今後の高速道路整備について」というテーマのもと、東国原宮崎県知事、岡本九州地整局長、などにより活発な意見が交わされました。

パネリストとして参加された東国原知事は、宮崎県における高速道路の必要性を説明し、今後も訴えていくとの発言がありました。

岡本局長は、道路整備への地元の支援・協力の必要性を話されました。

地元代表として参加された五ヶ瀬道づくり女性の会の小笠会長は、女性の立場から「命の道路」の必要性を切実に訴えられました。

延岡商工会議所の清本会頭は、民間の立場から地域経済の発展という観点から高速道路の必要性を訴えられました。

第1部：パネルディスカッションの様子



左：東国原知事 右：岡本局長



第2部の総決起大会では、主催者でもある首藤延岡市長が、住民にとって高速道路整備は永年の悲願であり、やっとこれからという時に財源の問題があり非常に心配。今日の大会を一里塚として、総力の結集が必要との旨を述べられました。

来賓の江藤衆議院議員は、道路の必要性を県民だけがわかっていてもダメ。日本全国に訴えなければ厳しいと挨拶されました。

また、大会では道づくりを考える延岡女性の会の皆様が寸劇にて「**高速道整備の重要性**」や「**整備に対する要望**」等を表現されました。

最後に「**両路線の整備を早急におこなうこと**」などの大会決議が採択され、ガンバローコールが盛大に行われました。

第2部：総決起大会の様子



延岡女性の会のお皆さんによる寸劇



▲岡本局長による挨拶



▲ ガンバローコール ▲

延岡河川国道事務所では、皆様のご期待にお応えすべく、総力を挙げて高速道事業整備に取り組んでいきます。

今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。